



YEG

青年部だより

4月号

2月度例会「頼れるリーダーになろう」

2月10日(木)に2月度例会「頼れるリーダーになろう」模範となるリーダー」の心得が開催されました。講師には株式会社スマイルガーディアン代表取締役の清水群氏をお迎え致しました。株式会社スマイルガーディアンでは清水群氏がテマパークで働いた経験、ノウハウを活かし、経営コンサルティングをされておられます。そこで委員長の五島延貢さんには例会についてインタビュー致しました。

先ずは何故この講師にされたのかをお伺いいたしました。五島委員長の思いとしては「青年部の会員すべての方は人の上に立つリーダーです。清水氏はディズニールランド・USJで働いた経験の中でたくさんリーダーとお仕事してこられました。そんな清水氏の講演を聞くことで、仕事での人との接し方や過ごし方のヒントになるのではと思います選ばせてもらいました。」

次に例会を通して会員に何を学んで欲しかったかをお尋ねいたしました。「模範となるリーダーの心得4箇条①真剣に目を向け、耳を傾ける②学び続ける③簡単に気づかれるな④見本であり続けるの4箇条を中心に講演頂きました。人の指針になるまたは人がついてくる人間になるにはどうしたらいいかを学んで欲しかったということでした。」

私自身例会に参加し、普段会社で自分が感じている多くの部分に気づかされ新鮮な感覚を学びました。また、自分の普段の態度を改めようと思ういい機会にもなりました。会社にもちかえり実践しようと思うことも多々あり、非常に勉強になる例会でした。

記者 清登 達朗



事業報告会および納会 開催

3月6日（日）今年度を締めくくる事業報告会および納会をオンライン（ZOOM）にて開催された。今年度のスローガン「以和為貴」のもと、どのような活動をしたか振り返り、皆で共有した。各委員会、向上室、県連・北陸信越出向者それぞれパワーポイントを使って報告し、全会員で一年間の活動を振り返った。また、事業報告の後には優秀会員賞、優秀新入会員賞、優秀委員会賞の発表も行われ、表彰者を皆で称え一年間の事業を締めくくった。事業報告会を設えたつなく事業委員会の菅野源心委員長は「会員全員で一年間を振り返り、共有することができた」と話した。

事業報告会に続き、納会もオンラインにて開催された。ブレイクアウトルームにて委員会毎に一年間の労を労った。画面越しではあったが、コロナ禍の中突っ走った仲間と共に思い出を語り合える有意義な場となった。納会の後半では一年間頑張った委員長へ、サブライズで担当副会長と副委員長から手紙の朗読が行われた。それぞれ暖かいメッセージで委員長を労い、砺波 WEGらしい和やかな空気に包まれた。今年度のスローガンの通り、お互いに仲良く調和できる時間となった。納会ならではの企画、各委員長の渾身の一発芸も行われ、納会を設えた会員親睦向上室の辻室長は「涙あり笑いありの納会になり、一層親睦を深めることができた」と話した。

記者 熊野皓太



【優秀会員賞】

藤井基生君（藤井碧峰）

【優秀新入会員賞】

下保勝君（株式会社 下保商店）

【優秀委員会賞】

ニューチャレンジ総務委員会

卒部者を送る会 順延

今年度の卒部者を送る会は、新型コロナウイルス感染症拡大により来季の開催となりました。今年度中に開催できず残念ですが、今までお世話になった卒部者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今までありがとうございました。



令和3年度 卒部者
の皆様

(上段 右から)

朝倉 義晴 君
荒川 一志 君
稲垣 亮仙 君
江成 剛 君
大谷 忠史 君
大野 祐嗣 君
窪城 勝彦 君

(下段 右から)

滋野 辰徳 君
中道 泰輔 君
橋本 祐一 君
前田 洋儀 君
溝口 雄一 君
山崎 暁 君
吉田 快 君
吉田 智行 君

夜高事業「よたかのじかんファイナル」



昨年六月から三月まで長期間配信してきたY o u T u b e番組「よたかのじかん」もいよいよファイナルを迎える。とнами夜高まつりが中止となり、夜高の伝統文化を継承しようと子どもたちに向けて製作・配信してきた。今回は集大成として、夜高事業でどんな成果があったか、夜高の燈を取り戻すことは出来たのかを番組を通して伝える。一年間夜高事業を運営した、ニューチャレンジ総務委員会委員長の熊野皓太君は「六月に市内の小学校・こども園に訪問した際、キラキラした子どもたちの姿を見ると夜高に対する想いが伝わってきた。そんな子どもたちに夜高を忘れてほしくない、祭りがなくてもひとりひとりの心に夜高の燈を灯せるようにしたい。」と語った。訪問した小学校から夜高について知りたいこと、気になることのアンケートをとり、地域の夜高関係者が答えていくという内容でY o u T u b e番組を製作。

学校の授業でY o u T u b e番組を見たり、チャンネル登録する児童も居た。「多くの地域の皆様のご協力の下この番組が完成した。大人たちが子どもたちに文化を継承していく大切さがY o u T u b eを通して実現できた。すべて青年部の手作りであたたかい番組になり、携わっていたいただいたすべての方々に感謝したい。」今回の事業で伝統文化を守っていく重要性を感じ、祭り開催へ気運を高めることができた。

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=hVkJuWodh6s>



【YouTube番組「よたかのじかん」ファイナル】
配信日時…令和4年3月6日(日) 20:00
視聴先…配信日時以降に「よたかのじかんファイナル」で検索するか、二次元コードをスマホ等のカメラ機能で読み込んでください。

富山県商工会議所青年部連合会臨時総会 ハイブリッド開催

令和3年度富山県商工会議所青年部連合会の臨時総会が2月19日（土）滑川西地区コミュニティホールにてハイブリッド開催で行われた。全体で約40名が参加し、砺波YEGからは6名が参加した。来賓として、富山県知事をはじめ滑川市長、滑川商工会議所会頭などが参加された。県連臨時総会では、令和4年度富山県商工会議所連合会の会長ならびに役員承認が行われた。令和4年度県連会長として、滑川YEGの吉田康之君が承認された。また、次年度単会会長の紹介が行われ、砺波YEGからは次年度会長である天野修君が挨拶を述べた。県連臨時総会に参加した富田会長は、令和4年度もコロナ禍が続くと思われるが、県連の活動を通じて会員総合の研鑽と交流を図り、単会の活動や自社の発展に繋げていきたいと語った。

記者 荒木 悠史



全国大会 香川たかまつ大会 開催

日本商工会議所青年部 第41回全国大会SETOの都 香川たかまつ大会が2月25日(金)〜26日(土)に香川県高松市にて開催された。25日には会員総会が、26日には記念式典、記念講演、記念事業などが完全オンラインで開催された。会員総会では、令和5年度会長候補者、令和4年度事業計画、収支予算が承認された。また、砺波YEGの本江君が令和4年度役員紹介にて、常務理事代表として挨拶を行なった。記念式典では、次年度日本商工会議所青年部会長予定者が発表され、福井県連 鯖江YEG西村昭宏君が会長予定者として挨拶を行った。また、次年度全国大会開催地として秋田県秋田市が発表され、美の国あきた大会のPRも行われた。参加した富田会長は、完全オンライン開催となった事により現地参加は叶いませんでしたが、ライブ配信を通じてオンライン開催ならではの企画や設えがあり、素晴らしい大会でしたと語った。

記者 荒木 悠史



連載

どんな人ながか知ってるけ？
青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「自主性が人生を創る」

本江 択（顧問）

事業所（株）ライフサービス

砺波市苗加に事業所を構える「株式会社ライフサービス」。

今年度最終号を飾るのは、株式会社ライフサービス代表取締役で東京03飯塚とも言われる本江択顧問だ。

「昔から音楽を聴くのが好きだった」そう語る本江顧問は、高校卒業後、音響の専門学校に進学するため、上京した。好きな音楽を仕事にしたいとの夢があり、高校時代出会ったバンドメンバーと共に音楽の道へ進んだ。在籍した専門学校で資格を取り、卒業後はインディーズとしてアルバムを出していたバンドの活動として3年間全国を飛び回った。また、その時知り合ったバンド仲間との交流を元に都内のライブハウスを中心として、イベントーとしての仕事でも精を出した。夢を追いかけながら、東京で様々なアルバイト生活も送った。「ピザ屋とか、キャバクラのボーイとか、レコード屋とか、自主経験したバイトの数は多い。多くの仲間ができて、大変いい社会経験になった」と当時を懐かしんだ。

2001年、初代iPod（携帯型デジタル音楽プレイヤー）が登場した。その当時は音楽プレイヤーの発売は大きな衝撃だった。CDの時代は終わり、ネットで音楽を聴くそして売る時代になるのではないか。ずっと音楽でメシを食っていけない訳ではない。メジャーになるのは氷山の一角だ。これが転換期となった。今まで隣り合わせに居た“音楽”は消えたわけではない。「音楽は趣味として地元でもずっとやっていけるし、どこでも創作はできるから」。

2002年、地元に戻ることを決意、とび職の道へ。ライフサービスに入社する。高校時代アルバイトで経験したこともあり、体は覚えていた。3年ほど職人として腕を振るった。

2006年、親会社であるアルメックホンゴに製缶溶接部門を立ち上げるため入社。他社へ製缶溶接の修業に向き、技術を習得した。そして、立ち上げた製缶課の課長に就任することになる。手に職をつけ3年が経ったある日、母が他界。母は当時、ライフサービスの代表をしていた。この当時、会社をたたむ話も出た。だが、そうするわけにはいかなかった。地元へ帰ってきて入社したライフサービス、己が継ぐ覚悟があり、社長に就任した。

「足場屋に憧れを持ってもらいたい」。これからの時代、建設専門業を志す若者は少なくなるのではないかと予想する中、様々な展開も考えている。運転専属の仕事や材料を運ぶことに特化した仕事など。時が経てば職人も高齢化し思うように体が動かなくなってくる。「この先、職人たちが持続的に安心して仕事ができる環境を整えていきたい」。社員のことを第一に考え、多角化していくことを考えている。



普段営業まわりや打ち合わせの業務などアクティブに動く本江顧問。社業のほか青年部活動をはじめ多方面で活躍し、過密なスケジュールをこなしている。「自分自身、外に出ていっている人々と繋がれるのが好き。上京で様々な仲間を作り培ったコミュニケーション能力を生かしたい」と話してくれた。そんな中でもプライベートな時間も大切にしている。特に息子と過ごす時間はかけがえのないものだ。趣味であるDIYを行う際は、図面から書かせ、一緒になって考える。一緒に作りあげていく。一緒に失敗をする。「様々な経験をさせ、そこで“失敗”することに“学び”がある。そうすることで自主性が芽生えるかな。」と語った。そこには、息子の成長を見守る父親の顔があった。

現在も当時の仲間と趣味としてバンド活動を続けおり、2020年にはapple musicでアルバム、シングルカットとして楽曲を販売することができた。自分の道は自分で切り拓いてきた。自分の力で考え行動してきたその「自主性」こそが、これからも彼の人生を創っていくのだろう。

記者 熊野皓太

メモ

生年月日・昭和55年3月30日

趣味・ギター、スキー、キャンプ、料理、家庭菜園

好きな食べ物・寿司（嫌いな食べ物・刺身）

【連載】どんな人ながか知つとるけ？ 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの
アンちゃん、ネエちゃん砺波で
こんな活躍しています！

「自分の知らないことを知ること」

潟沼 秀憲 (顧問)
事業所 (有)潟沼塗装店

建築構造物の内外塗装を足場から防水まで一括で手掛ける有限会社潟沼塗装店。その代表取締役を務められている、潟沼顧問。今回の記事の主人公だ。

潟沼さんは、青年部では先輩に限らず年の離れた後輩からもいじられ愛されている方だ。青年部のある会員曰く「潟沼さんは他人のためなら泥水さえ飲める人」と評される程、仲間思いで義理と人情に厚い方でもある。

夜七時すぎ、筆者が事務所にお邪魔するのは一年ぶりであるが、奥様が私に甘いコーヒーをそつと出してくださった。「すげーなあ。よく甘いものやって覚えとるなあ」と素直に感動する潟沼さん。

現在の潟沼さんからは想像できないが、出町中学校の入学式で自然と集まった仲間達と暴走族になり、高校に入学するも一学期で中退。父親から「お前みたいなもん恥ずかしくて外に出せん」と言われ、父親の下で塗装の腕を磨いた。自由奔放に自分の好きな事をしていた18、19歳の時転機があり、一度外の世界で自分の好きなことをやってみたくて上京し東京での生活を謳歌していたが一年が経った頃、両親から「会社が大変だから帰ってこい」と電話が掛かってきた。「頭の中ではいざ自分自身が会社を継がなければならないと自覚していたから戻ったが全然大変そうじゃなかった。」と笑いながら語られた。

27歳。知人の誘いで青年部に入会する。

「青年部の他にも色々な団体に入られていますよね。どうしてですか」とお聞きすると

「裸の王様でいたくない」と語る。「職人として腕を磨きペンキを塗っていれば会社は存続するけど、今後経営者になるに当たったのプレッシャーや不安があった。正直に言うけど自分の過去の印象から仕事を頼むのをやめたということを目にし、自身に持たれているこれまでの印象を変えたかった」と当時を振り返る。

「青年部に入られてどうでしたか」とさらにお聞きすると

「元々学がないし、まともに勉強したことないから、漢字も全然やし文章もパソコンも決算書もわからんだ。青年部で委員長をした時、事業計画書を作って理事会で承認を得んなんだけど、それも面倒くさいって思ったし、そんなことせんでも当日現場でなんかなるし、なんかできると思ってた。」やけど、その面倒くさいことをせんと人に伝わらんのよね。やし、自分がこれまで経験したことのない世界やから当然わからんことだらけやけど、聞いたらちゃんと教えてくれる。だからそうだった経験の中で自分が知らなかったことを知れるのは楽しいし勉強になる。JCや同友会そうやけども、当然会議でポツコポコにされたわ。でもそうやって人から言われるのがいいんよ。言われんと裸の王様になってしまっ

から。」

潟沼さんの口癖のひとつに「青年部と仕事は同じ」がある。青年部で多くのことを経験し学ばれ会社に持ち帰っていなければこの言葉は言えないし、こんなことを言える人は潟沼さんしか知らない。

潟沼さんは平成17年に青年部へ入会后、数多くの役職を経験され、平成30年には会長、令和2年には北陸信越ブロックの会長、現在は顧問の職に就いておられる。

「会長職を経験してどうでしたか」と質問すると

「伝えることの難しさ大切さを知った。青年部で事業計画書を作るのが面倒くさいと言ったけど、そういうことをちゃんとせんなん。仕事もそうやけど、自分が現場に出てあーやこーやと言えばなんとかなるかもしれないけど。ちゃんと伝えることができたら、人に任せることが出来る。ただこの人にはこの伝え方がいいけど、あの人にはその伝え方は通じない。まあそれが難しいけどもね。青年部は仕事の予行演習な部分もある。社長になった時と会長になった時はほぼ同時期やけど、成功も失敗もしたけど、本当に勉強させてもらったし、人に助けられた。やから、若いもんには絶対に身になるから色々な経験をしてほしい。」

筆者とは縁あって令和2年度の北陸信越ブロックの運営をご一緒したが、ブロックの会長に決定した冒頭の挨拶の際、千名もの人の前で自分の思いを真っ直ぐに伝え多くの人の心を動かされている姿があった。自社の発展のために青年部がある。だからこのブロックを利用してくださいと言いつつ一年間活動された。その間北陸信越ブロックに新たな息吹をもたらしたと思う。最後の式典でブロック旗を持って入場する潟沼さんの姿は一年前の潟沼さんより一回りも二回りも大きな存在になられているように感じた。誇らしい立派なお姿だった。

潟沼顧問は、果敢に自身の知らない世界に飛び込んでいく。自身の世界を広げるのも狭くするのも自分次第。自身の世界を広げる度に勉強することがあると。そして自身の経験したことを我々後輩に正直に話してください。青年部は後一年で卒業されるが、5年後10年後の潟沼さんに必ず会いたい、そういうお方だ。そう思われる方はたくさんおられるに違いない。

記者 佐藤丈寛



メモ

趣味..バイク、車

好きな食べ物..中華料理